

横浜市立鉄小学校 令和2年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
人とかわり 創り出す 笑顔あふれる鉄小 ～まちにふれ、土に親しみ、人から学び、ともにのびゆく鉄の子～	<心身ともにたくましく生きる力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>伝統と歴史のあるまちにおいて、学校を軸に保護者・地域と連携し、土に親しみ、人から学ぶ体験活動を充実させることにより、豊かな心を育て、自信をもって、自ら考え自ら学び、社会を生き抜く力を育成します。</p> <p>○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。</p> <p>○違いを認め、他者を思いやり、自分も人も大切にすることを育てます。</p> <p>○学んだことを自信をもって人に伝えようとする、自分にできることはなにかを考えようとする学びに向かう力、人間性を育てます</p>

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	① 学校保健委員会のテーマに沿って、健康タイム等で自らの生活への振り返りにも継続的に取り組む。 ② 一校一実践運動では、「投の運動」、「縄跳び」、「持久走」等を取り上げ、体力の向上に励む。 ③ 栄養士や養護教諭と連携しながら、食育に関する授業を行う。
担当 学力向上	

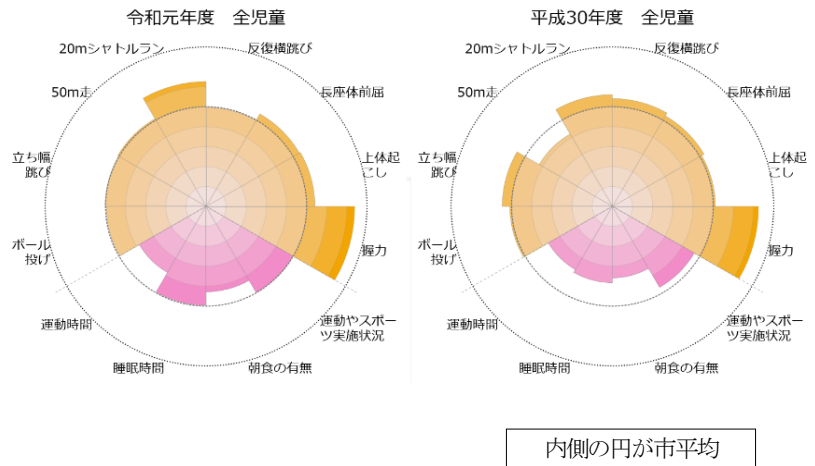
2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- 生活習慣に関しては、全体的に前年度より向上した。特に「朝食の有無」「睡眠時間」に関しては、大きく向上している。今後も、健康タイムなどを通して生活習慣の必要性についても考えていく。
- 高学年での運動部やスポーツクラブへの所属率の低下により、運動時間の低下が見られ、運動習慣の改善は今後も必要である。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)

- 昨年度よりも全体的に平均値の向上が見られる。昨年度の体育集会の成果と考える。
- 20mシャトルランや50m走などの、持久力や瞬発力が顕著に向上している。
- 運動への意欲の高まり、体育だけでなく休み時間に校庭で体を動かす楽しさを味わう姿が多く見られる。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では、体力向上のための運動を重点化するとともに、生涯体育に向けてどの子どもでも運動に親しめる学習内容や計画を立てる。
- ・保健体育科では、心身の成長に伴う変化についても各学年ごとに応じて取組み、養護教諭と連携して実態に応じた授業をめざす。

《他教科での取組》

- ・家庭科や各学年ごとに作成した食育のしおりを中心に、食育教育として、豊かな食生活が、体力の向上につながることを伝える。

特別活動・総合的な学習の時間

《委員会活動》

- ・給食・保健委員会では、児童の健康面での課題を明確にして、年間を通した各クラスの実践計画を設定し、年度末に成果を振り返る。
- ・月1回の健康タイムでは、学校保健委員会の掲げるテーマ「」に沿って健康に関する知識や取組紹介を継続的に行う。

《避難訓練・地域防災訓練との連携》

- ・安全指導では、自ら危険を回避し、安全を確保することができるように指導する。
- ・地域防災訓練と連携し、地域における防災の取組を知ると共に、自身の安全を地域・学校・家庭と連携しながら確保していくことを伝える。

課外活動

- 年2回の学校保健委員会等において、健康の保持増進に関する活動の推進
- 給食後の歯磨き活動の充実
- 健康手帳を活用し、体育健康に関する情報を家庭と共有

令和2年度 鉄小学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 ・鉄小アイアンタイム
- 《ねらい》 ・運動機会の確保、教員の指導力向上、運動に親しむ資質・能力の育成
- 《内容》 ・「走る」「跳ぶ」「投げる」などの様々な領域の運動を通して、体力の向上を図る。
・アイアンタイムの活動と連携して、休み時間や体育の時間にサッカー、ドッジボール、バスケットボール、縄跳び、持久走などの運動に取り組み、充実を図る。
- 指標
- ①行事後の振り返り
 - ・アイアンタイムに取り組む様子や休み時間での過ごし方を調査する。
 - ・縄跳び・持久走カードの記録を基に、取り組んだ人数を調査する。
 - ②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」を検証する。